

家の中だけじゃなくて、「家自体」にも地震対策

SDGsラジオを讀んでみよう！

地震対策はしていますか？

防災グッズを用意したり、たんすや食器棚が倒れないように固定したり、いろいろな対策がありますよね。

実は地震対策は、家の中だけじゃなくて、家自体にもできるんですよ。

窓の会社「YKK AP(ワイケイケイエーピー)」は地震が起きた時に家を守るために、窓ガラスやフェンス、家の壁などもつくっています。

割れても破片が飛び散りにくい窓ガラスを選ぶと、ケガの防止につながり、また、家の外壁を軽い素材にすることで、

地震の揺れをやわらげることができます。

ほかにもYKK APでは、ブロック塀の代わりに使えるアルミ製のフェンスをつくっています。

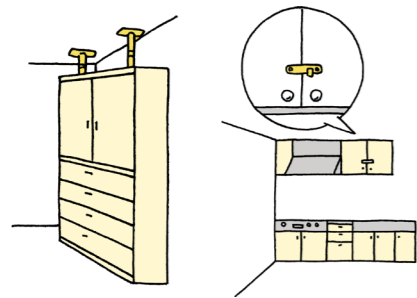
これにより、地震などでブロック塀が倒れる被害を減らすことができます。

日本はとてもしずかが多い国です。

家自体にも地震対策をして、もっと毎日を安心、安全に。

もしもにそなえて、今できる対策は何か？考えてみましょう。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：地震対策のイメージ画像(YKK APのHPより)

地震が起ると大きな揺れにより家具が倒れたり、扉がゆがんだり、家の壁が壊れたりすることがあります。これを防ぐために、地震対策が必要です。例えば、家の中で倒れやすい家具や家電を固定したり、ガラスが飛び散るのを防ぐシールを貼ったりすることで、地震の被害を減らすことができます。他にも、窓の強化や屋根の補強なども、家を守るためにできる方法です。日頃から地震対策をしておくことで、いざという時に家族や大切なものを守ることができます。

日本は地震が多い国なので、地震対策が欠かせません。窓の会社「YKK AP」では、そんな日本の家を守るための製品を開発しています。例えば、割れても破片が飛び散りにくい窓ガラスは、ケガの防止に役立ちます。また、地震の揺れに強い「窓枠フレーム」を取り付けることで、窓から入ってくる光はそのまま、窓が割れたり外れたりするのを防ぐことができます。そして、軽い素材の壁やアルミ製のフェンスもYKK APはつくっています。家の壁を軽くし、フェンスをアルミ製にすれば、地震の揺れをやわらげることができます。でき、ブロック塀が壊れて倒れてしまうなどの被害を防ぐことができます。地震対策には、家そのものの強化も大切です。今できる対策を考え、家族を守る準備をしましょう。



画像参照：割れても飛び散りにくいガラス(YKK APのHPより)

キーワード

地震

地面の下にある「プレート」という大きな板が動いたりぶつかったりすることで起きる地面の揺れです。大きな地震では建物が壊れたり、道が割れたりすることもあります。地震が起きたら、頭を守ったり、机の下に隠れたりして安全な場所に避難することが大切です。

フェンス

フェンスは、おうちのまわりにある囲いのことです。外からお庭が見えにくくなったり、人や動物が入ってこないようにするために使います。

ブロック塀

ブロック塀は、ブロックを積み上げて作る壁のことです。おうちやお庭を囲んで、目隠しや安全のために使われます。地震が起きると、ブロック塀が倒れることがあります。

対象ゴール



みなさんにできること！

地震に備え、今自分にできる対策を考えてみましょう。

おさらい

- 日本では地震が多い。
- 家の中だけではなく、家自体にも地震対策をすることが大事。
- YKK APでは破片が飛び散りにくい窓ガラスやフェンス、家の外壁を製造している。

メモ



SDGs ラジオ